

<大阪モデルの修正 R4.5.18 第76回対策本部会議決定（R4.5.23より適用）>

○ **感染性が高いオミクロン株の特性に適合させるため、感染規模を測る指標・目安を修正。**

- ◆「警戒（黄信号）」 「直近 1 週間の人口10万人あたり新規陽性者数」の目安「35人以上」を **「明らかな増加傾向」に修正。**
- ◆「非常事態（赤信号）」 新たに**「直近 1 週間の人口10万人あたり新規陽性者数」を追加**し、目安として**「明らかな増加傾向」を設定。**

<見張り番指標（感染拡大の兆候探知）の修正について>

「見張り番指標」

- ・今後 1 ～ 2 週間程度の感染拡大の兆候を予測するため、20～30代の増加傾向を把握する指標を設定し、日々モニタリング・見える化。
- ・目安到達状況や、感染状況・感染拡大の契機（恒例行事による人流の拡大など）の有無などを考慮のうえ、府民に注意喚起を行う。

○ 見張り番指標の**「20・30代新規陽性者数 7 日間移動平均」の目安「概ね50人以上」については、デルタ株の感染性を前提として設定（令和3年11月26日より運用開始）したものであり、現行の大阪モデル「警戒」の目安と同様、オミクロン株の特性に適合していないため、削除する。（適用日：5月23日）**

○ **感染拡大の兆候については、引き続き、「20・30代新規陽性者数 7 日間移動平均前日比 4 日連続 1 を超過」で探知する。**

赤字の指標・目安等を削除

| 区分                                   | 見張り番指標                           | 目安                 | 兆候の探知                           |
|--------------------------------------|----------------------------------|--------------------|---------------------------------|
| 若年層の増加傾向<br>（今後 1 ～ 2 週間の感染拡大の兆候を予測） | <del>20・30代新規陽性者数 7 日間移動平均</del> | <del>概ね50人以上</del> | 左記の <b>全ての</b> 指標が<br>目安を満たした場合 |
|                                      | 20・30代新規陽性者数 7 日間移動平均前日比         | 4日連続 1 を超過         |                                 |